令和7年度県立特別支援学校の生徒指導上の諸課題の現状について

特別支援教育課

※特別支援学校については、今回から、暴力行為以外の全ての項目が調査対象となったため、令和7年度の調査結果から公表。

1 県立特別支援学校におけるいじめの認知状況について

区分	令和７年度			
	小学部	中学部	高等部	全体
認知件数	9 件	9 件	28 件	46 件
認知学校数（※１）	5 校	5 校	6 校	11 校
認知学校数の割合	29.4 %	29.4 %	42.9 %	52.4 %
認知学校数の割合（全国：公立特別支援学校）	21.2 %	26.9 %	42.0 %	48.0 %

※1 認知学校数については、学部ごとにそれぞれ1校として計上するため、小学部・中学部・高等部の合計と「全体」の学校数は一致しない。

＜参考＞1,000人当たりのいじめの認知件数（全国との比較）

区分	令和７年度			
	小学部	中学部	高等部	全体
県立特別支援学校	6.6 件	12.3 件	20.8 件	13.4 件
全国：国公私立特別支援学校				26.9 件

いじめの認知件数は、小学部9件、中学部9件、高等部28件、全体では46件となっている。
認知学校数の割合は、小学部29.4%、中学部29.4%、高等部42.9%、全体では52.4%となっている。全国との比較では、小学部は8.2ポイント、中学部は2.5ポイント、高等部は0.9ポイント、全体では4.4ポイント高い。
児童生徒1,000人当たりのいじめの認知件数は、小学部6.6件、中学部12.3件、高等部20.8件、全体では13.4件となっている。全国との比較（全体）では、13.5件少ない。

2 県立特別支援学校における長期欠席の状況について

区分	令和７年度			
	小学部	中学部	高等部	全体
病気	60 人	53 人	74 人	187 人
経済的理由	0 人	0 人	0 人	0 人
不登校（※２）	23 人	23 人	70 人	116 人
その他	88 人	37 人	40 人	165 人
計	171 人	113 人	184 人	468 人
不登校児童生徒の復帰率	34.8 %	39.1 %	31.4 %	33.6 %
不登校児童生徒の復帰率（全国：公立特別支援学校）	21.5 %	18.2 %	26.0 %	

※2 うち、出席扱い等となった児童生徒数は、小学部0人、中学部1人、高等部11人。

＜参考＞1,000人当たりの不登校児童生徒数（全国との比較）

区分	令和７年度			
	小学部	中学部	高等部	全体
県立特別支援学校	16.9 人	31.4 人	52.1 人	33.8 人
全国：国公私立特別支援学校	11.3 人	31.1 人	62.2 人	

長期欠席児童生徒数は、小学部171人、中学部113人、高等部184人、全体では、468人となっている。
不登校児童生徒数は、小学部23人、中学部23人、高等部70人、全体では、116人となっている。
不登校児童生徒の復帰率は、小学部34.8%、中学部39.1%、高等部31.4%、全体では、33.6%となっている。全国との比較では、小学部は13.3ポイント、中学部は20.9ポイント、高等部は5.4ポイント高い。
児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小学部16.9人、中学部31.4人、高等部52.1人、全体で33.8人となっている。全国との比較では、小学部は5.6人、中学部は0.3人多く、高等部は10.1人少ない。

3 県立特別支援学校高等部における中途退学者の状況について

区分	令和７年度
中途退学者数	24 人

＜参考＞中途退学率（全国との比較）

区分	令和７年度
県立特別支援学校	1.8 %
全国：公立特別支援学校	1.2 %

中途退学者数は、24人となっている。中途退学者の割合は1.8%で、全国値より0.6ポイント高い。